

うらさと 学校だより24

25. 1. 15 NO. 17

3学期と25年のスタートです

3学期始業式での校長講話（一部より）

（前略）今、目標を聞きました。前向きでとても具体的な、すばらしい目標でした。きっと皆さんも発表してくれた人と同じように、自分の目標を持って、新しい年を迎えたと思います。どうかその目標や願いを忘れずにこの一年を、この3学期を過ごしていきましょう。

さて、3学期の学校へ登校する日数は、幾日だか知っていますか。そう48日です。本当に短い日数です。でも、とても大事にしなければならない48日だと私は思っています。（中略）

そこで、私から皆さんにお願いがあります。お願いは2つです。

今まで以上に私たちの浦里小学校の校舎を大事にしましょう。残された校舎を今まで以上に丁寧に隅から隅まで磨きましょう。

そして、今まで以上に自分を、友達を仲間を大事にしましょう。明るい笑顔であいさつが交し合える仲間になりましょう。

私たちがそんな姿で、この3学期を、この一年を過ごすことが出来たなら、今日まで心から励まし支えてくださった本当に大勢の皆さんへ感謝の心を行動で示すこととなります。

そして、さらには、毎日毎日皆さんを、この浦里小学校を大切に思っている皆さんのお母さんやお父さん、そして様々なことでお世話になっている地域の皆さんへ、明るい笑顔を届けることとなります。浦里小学校から笑顔の輪を、浦里の地域全体に広げられる、そんな3学期にしたいと思います。

さあ、今日から3学期の生活が始まります。笑顔で始めましょう。

3学期が、始まりました。笑顔ではじめたいと思いました。ほとんどの子どもたちは、落ち着いた顔つきで始業式に参加していました。その中で、一つ気がついたことがあります。それは、式が始まってから、

あくびをしている児童が今までになく多かったことです。これまでのこうした式でも幾人かがあくびをする姿を眼にしましたが、多くても2～3名くらいでした。今日は違いました。その人数の多さに驚きました。

さて、このことはどのように考えればいいのでしょうか。

一つには、今回の年末年始休業は、昨年度と比べて長かったことが挙げられるかと思えます。長かった分家庭でのゆったりとした生活リズムからの抜け出しが出来ないでいる姿が「あくび」となって現れたのかもしれない。もう一つは、やはり2学期が緊張の連続でしかも一人一人が、がんばって生活してきました。そんな中で休みを迎え緊張していた気持ちが緩み、一気に疲れが出て



標語の表彰式、見事な作品ばかりです

きたということかとも思いました。心も体も疲れているというのは間違いのないところです。その疲れがこの休み中にいっぺんに出てきたのではないかと考えられます。子どもたちの様子を慎重に見極めつつ、対応をしていかなければと思った姿でした。

さて、3学期の登校日は、48日です。そのうちの一日は卒業式です。48日を意味ある日々にしていかなければなりません。

卒業式の日まで、一日一日を丁寧に積み重ねて参りたいと思います。

11日に、標語の表彰を行いました

昨年度より学校運営協議会で、「子どもたちを地域で育てるために『地域の皆さん全体で取り組むこと』を決めよう」という願いのもと、具体的に取り組む内容が検討されてきました。検討の結果、二つの事柄を決めだしてきました。(23年度に)

① 広めよう！ あいさつ運動 ② 減らそう！児童のテレビとゲーム(テレビやパソコン、ゲーム、携帯電話などとの接し方が考えられたり、接する時間などを自制できたりする子どもになってほしい)

その具体的な活動の一つとして、昨年12月、児童に「あいさつとテレビやゲーム」に関する標語づくりを行っていただきました。1月11日その最優秀作品と優秀作品の表彰式を行いました。出来るだけ早く、標語は、各御家庭に配布します。この標語作りを一つのきっかけとして多くの家庭の中で、あいさつとメディアとの付き合い方について、子どもたちと話し合ってもらいたいと願います。小学校段階で、テレビやゲームとの良好な係わり方を獲得しておくことは、携帯やスマホなどといった便利な道具を手にした時に「使われる人ではなく使う人」として自律的・自立的に出来るはずだからです。

このことも皆で話し合い、知恵を出し合って取り組んでいきます。よろしくお願いいたします。

工事が始まりました

現在は、庁務室のあった建物を児童用のトイレを加え、職員の更衣室を含めたものに変える工事が行われています。同時に、給食のコンテナ室を設置する工事が始まると聞いています。



今年も、上出来。わら馬！

仮設の多目的教室等については業者の方が学校に来られて様子を見ていかれます。そちらの方の業者の決定も近いように思います。

その他には、12月の中旬に、現在、児童用玄関として使用している入り口のところに屋根をつけてもらいました。また、中央廊下のプール側の端にサッシを設置する工事を行っていただきました。

3学期は、静かにじっくりと、と思う気持ちには強いのですが、こ



初めてのわら馬！

うした状況がここしばらく続くようになります。学習に集中できる環境を整えていきたいと思います。

できるだけ、子どもたちの学習活動に支障をきたさないように配慮しつつ取り組んでいきます。

残されている現音楽室を保健室にする工事や調理室を理科室としても使用できるようにする工事も予定されています。調理室と理科室の兼用は、食物と薬剤を同じ教室で用いるということになります。もちろん、使い分けや使う段階では、安全管理に十分配慮したマニュアルを定めて使用しなければなりません。まだ、マニュアルを作成する段階には来ておりませんが、安全・安心が担保できるように考えて参ります。

節目：ある方が現代人に欠けていることの一つに、「節目」を持つことであるといわれています。伝統的な生活や行事は、その中に多くの「節目」を内在していました。生活の中に節目が自然と包含されていたのです。大晦日と元旦のどこがどう違うのかといわれても、別に差異はありません。初日の出といってもその前日の日の出と区別するしるしは何もありません。その差異は、私たち自身が意味を持たせることで生じてくる差異です。その節目を目に見えるようにするために、色々なものを創り出したりしきたりを定めたりしてきました。節目ということは、実はそうした伝統文化力の一つではないでしょうか。見えないことに意味を持たせること、日本人はそうした精神性に優れた民族であるといわれます。神社の春秋のお祭りやわら馬づくり、どんど焼き等全てそうした文化力の高さを示す行事です。浦里には、その芽があっちこちにありません。それを支える人もいます。竹がおめでたい植物として位置づいているわけには諸説あるのですが、「節」があるからだとは私は思います。竹のように節を自分で作りつつ、大雪で倒されても立ち直るたくましさ。そのように確かに延びていく一年にしたいと思います。よろしくお願いいたします。

文責 学校長 滝澤 俊明